



ふじさんネットワーク

FUJISAN
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.25



富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

目次

Contents

1. 富士山クリーンアップの推進
富士山ごみ減量大作戦
2. 富士山エコレンジャー活動報告
3. 富士山世界文化遺産登録
4. 環境教育事業
5. 今年の雪代
6. 富士山憲章10周年記念事業
7. 富士山ピンバッジ

1 富士山クリーンアップの推進～富士山ごみ減量大作戦～

静岡県の
取組み

今年の富士山は、8月の好天と世界文化遺産への暫定リスト登載などを受け、過去最大の登山者数を記録しました。数年前まで「ごみの山」と酷評されていた富士山も、長年にわたる清掃活動や登山マナーの向上により、五合目以上の登山道周辺のごみはほとんど見られなくなりました。

しかしながら、登山道を外れた山肌には、風に飛ばされたごみや過去に捨てられたごみが残っている場所もあります。また、五合目以下の道路沿いには多くのポイ捨てごみが見られ、まだまだ充分とはいえない状態が続いています。

静岡県では、これらのごみの一掃を図るため、昨年度から「富士山ごみ減量大作戦」と称し、ボランティアとの協働で清掃活動を実施しています。

山麓部での清掃活動

ポイ捨てなどの多い山麓部では、一般公募で参加者を募集し、富士山麓の国道協などを主体として清掃活動を実施しています。



山麓での清掃活動の様子

活動成果

	参加者数	ごみ回収量
第1回(H18.6)	25人	360kg
第2回(H18.10)	50人	640kg
第3回(H19.6)	106人	650kg
第4回(H19.10)	雨天中止(台風20号)	
合計	181人	1,650kg

道路脇の山林や草むらからは、飲料容器や弁当屑などのポイ捨てごみのほか、わざわざ持ち込み捨てていったと思われる、タイヤ・家電製品などの大型のごみも発見されました。参加者の方々も、「なぜこんな所に捨てるの?」と信じられない様子でした。

また、今年の6月には「富士山エコレンジャー」を講師に迎え、県の新規採用職員研修として初めて富士山麓部での清掃活動を行いました。

このほかにも最近では、各種企業・団体による自主的な清掃活動も盛んに行われるようになってきました。一般公募の活動もありますので、皆さんもぜひ一度参加してはいかがでしょうか。

山肌の清掃活動

さらに、今年度新たな取組としてはじめてのが、登山道を外れた山肌での清掃です。危険を伴う作業のため、山岳関係団体や富士山エコレンジャーの協力を得て、山小屋関係者・関係行政機関とともに清掃活動を実施しました。

須走口の山頂部分では、「富士山頂合同クリーン作戦2007」として、初めて山梨県と合同で清掃活動を行いました。



富士宮口八合目での活動

活動成果		
	参加者数	ごみ回収量
富士宮口 (H19.9.2)	77人	960kg
須走口 (H19.9.9)	132人	3,133kg
合計	209人	4,093kg



須走口山頂での合同クリーン作戦

回収されたごみは、最近風で飛ばされた帽子やペットボトル・菓子袋などのほか、杖に付けられていた鈴や錆びた空缶、ビン類などの不燃物が多く、昔捨てられたごみが未だ残っている場所があることがわかりました。

世界に誇ることができる美しい富士山を目指し、今後もこれらの地道な活動を続けて富士山クリーンアップを推進していくとともに、富士山保全意識の高揚につなげていきます。



2 富士山エコレンジャー活動報告

平成19年7月から20人の新生富士山エコレンジャーが活動を開始しました。

1 個別活動実績

7 月	8 月
延べ37人 16日間	延べ58人 23日間

- 来訪者へのマナー啓発
- 来訪者への自然解説等の情報提供
- 動植物の保護とその情報収集

富士宮口登山道にて



2 合同活動実績

個別の活動以外にエコレンジャー連絡会として活動

内 容	実 施 日	延べ参加人数
県新規採用職員研修講師 (自然観察、ごみ調査)	6月22日、29日 (19年度発足以前)	10人
富士山ごみ減量大作戦(山肌清掃)	9月2日、9日	5人
オフロード車パトロール	10月6日、14日	6人
合同研修会	10月21日	5人



3 エコレンジャー連絡会

① 日時	6月11日(月) 午後6時30分～8時
参加者	11人
内容	19年度登録、役員

② 日時	9月11日(火) 午後6時30分～8時
参加者	10人
内容	エコレンジャー募集・講習会計画、合同事業

合同研修会—幕岩にて



3 富士山世界文化遺産登録 学術委員会での検討状況について

静岡県からのお知らせ

学術委員会とは？

富士山の価値や、その価値を証明する資産候補の選定を行い、確実な保護のための仕組みを検討することを目的に、学術委員会を設置しています。

学術委員会は、静岡・山梨各県が設置する『県学術委員会』と、両県が合同で設置する『二県学術委員会』から成ります。



静岡県学術委員会の様子

学術委員会の開催状況

【静岡県学術委員会】

区分	開催日	概要
第1回	7月5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長に川勝平太氏(静岡文化芸術大学学長)、副委員長に土隆一氏(静岡大学名誉教授)を選出 ・登録に向けた組織体制の確立 ・保存管理計画検討部会、諸問題調査部会の設置を決定 <委員意見> ・富士山の象徴性について、さらに研究すること ・視点場についての調査を行うこと
第2回	9月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山の世界文化遺産としての価値や構成資産等の検討 ・富士山の範囲の考え方、構成資産候補案についての検討 ・比較分析を行う類似資産案の検討 <委員意見> ・「山麓の独特の土地利用」の価値付け、富士山の普遍的価値の再構築が必要 ・富士山の価値を表す幅広い構成資産をおさえること

○富士山の価値を証明する資産について、県内の富士山周辺13市町に洗い出しを依頼し、提出された計198件の文化財について調査・検討し、25件の文化財を構成資産候補として第2回静岡県学術委員会に提案しました。

○構成資産候補の検討

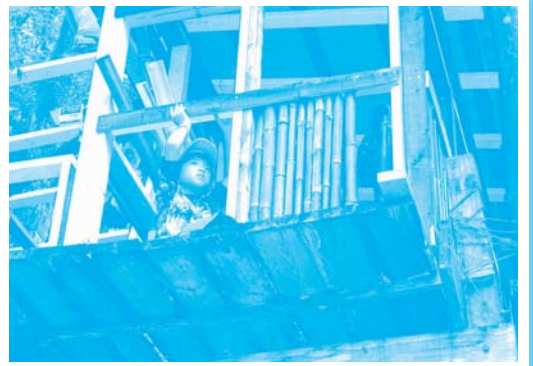
文化庁係官、静岡県学術委員会委員、関係市町担当者等とともに現地調査を行いました。また、保存管理計画検討部会(7月5日)、諸問題調査部会(7月27日)を開催し、幅広い視野から富士山の総合的な調査・研究を進めています。

4 環境教育事業

○	事業名	小学生のための体験プログラム「森で遊ぶーツリーハウスを作ろう」
○	開催日	平成19年7月27日(金)から28日(土)
○	場所	(財)富士社会教育センター御殿場本校
○	参加者	小学4年、5年の14人(スタッフ6人)
○	目的	共同作業をとおして、チームワークの大切さ、素晴らしさを知ると同時に、森で遊ぶ楽しさ、自然の大切さ、森の大切さを学ぶ。
○	内容	●ツリーハウスの作成(屋根、壁、手すり) 材料準備、組み立て、ペンキ塗り ●竹を材料にしたテーブルやいすの作成 ●食事づくり 竹を使用した飯盒炊飯、食器 ●ネイチャーウォッチング
○	参加者の感想	竹を切るのは大変だったけど、ツリーハウスができてよかった。 ほかの学校の友達がたくさんできて、うれしかった。自然の大切さ、楽しさがわかった。
○	実施団体	富士山ナショナルトラスト、富士山わくわく自然塾



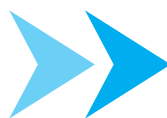
共同で竹を割っています



竹で壁を作りました

5 今年の雪代

今年は3月下旬に富士宮口でおきた大規模な雪代(スラッシュ雪崩)に代表されるように各所で大小の土砂崩れが起きました。この写真は「幕岩」の看板です。1.5m程度が埋まった状況が確認できます。



6 富士山憲章10周年記念事業

平成20年度が「富士山憲章」制定(H10.11.18)10周年の節目の年に当たることから、これを記念し、富士山憲章制定10周年記念事業を実施します。

開催日等が下記のとおり決定しましたので、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

① これまでの検討結果

月 日	検討内容・決定内容	
5月19日(土)	総会	記念事業の企画を行うために企画部会を組織化する。 経費はピンバッジの寄付金を使用する。
7月6日(金)	正副会長会	企画部会員は全幹事の団体から選出する。 記念事業はシンポジウムと自然観察会とする。
8月9日(木)	第1回企画部会	シンポジウムは講演会・分科会・パネルディスカッションとする。
10月31日(水)	第2回企画部会	講演会・分科会・パネルディスカッション、自然観察会の開催日、場所、内容、担当等の検討。
11月28日(水)	第3回企画部会	

② 記念事業シンポジウム

開催月日	平成20年12月7日(日)	
場 所	三島市民文化会館	
内 容	記念講演	2人の講師
	分科会	① ふじさんネットワークの活動
		② 環境保全に係る諸問題
		③ 水と森づくり
④ 観光における環境保全		
	パネルディスカッション	

③ 自然観察会

開催月日	平成20年9月から10月までの土日祭日		
内 容	種 類	森林をめぐる自然観察会	水をめぐる自然観察会
		動植物に触れる自然観察会	富士山の地学観察会
	方 法	1つの観察会につき、1、2回実施 会員が日頃の活動を生かしたガイドを行う	
	参加者	一般県民(1回20人程度)	

7 新しくなりました!富士山ピンバッジ

「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付を募っています。寄付をいただいた方に富士山ピンバッジを配布しています。

今年度、「SAVE Mt.FUJI」を新たに作成しました。以前の物より色鮮やかで、ピンの根元部分を強化しました。



SAVE Mt.FUJI

(大きさ:直径26mm)



花シリーズ (5種)

(大きさ:直径66mm)

5個(セット)

募金金額…SAVE Mt.FUJI : 1口 300円以上
花シリーズ (5種) : 1口1,000円以上

申込み方法…郵 送: 電話またはメールにて下記①~④をお伝え下さい。当方から振込用紙をご送付し、ご入金が確認でき次第、ピンバッジを送付します。(振込手数料・送料は当方負担)
〔①お名前 ②送付先住所 ③電話番号 ④希望するピンバッジの種類〕
直接来庁: 静岡県庁自然保護室にて募金と同時にピンバッジをお渡しします。

申込み先…ふじさんネットワーク事務局

事務局からのお知らせ

- 富士山みがきあげ作戦への参加団体を募集しています。富士山からごみがなくなるにはどうしたらいいか、考えてみませんか。
- ふじさんネットワーク情報誌の表紙を飾る富士山の写真や、富士山に生きる動植物の写真を募集しています。これらの写真を御提供いただける方は、ぜひ事務局まで御連絡下さい。
- メールマガジンへの登録をお願いします。 <http://www.fujisan-net.gr.jp/mailing/index.asp>



2007年12月 vol.25

編集・発行/ふじさんネットワーク事務局

静岡県環境局自然保護室内

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 電話054-221-3776 ファックス054-221-3278

E-mail 3776fuj@pref.shizuoka.jp URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 土 隆一
(静岡大学名誉教授)
- 会員数 414団体・個人
(H19.11.1現在)